

令和 6 年度 西区の地域課題・提案

～3 層から 2 層に上がってきた地域課題・提案等のうち、2 層から 1 層に提示することが必要と考える地域課題・提案～

1 ペット問題について

【現状と課題】 個別ケースの支援の中で、緊急入院時のペットの預け先や飼育継続が困難な場合の譲渡先探し
が問題となることがある。

- ・一人暮らしで支援できる親族がいない世帯ではペットを預けることもできず、また、経済的にも困窮していると譲渡を検討しても広告の掲載費用の工面も困難なケースがある。
- ・医療的処置が必要な身体状況等になっても、ペットの預け先がなく心配で家を離れられないと入院を拒否する方もいる。
- ・緊急入院をした際に、お世話できる人がいなくなったペットが家から逃げ出し野良化してしまうケースもある。
- ・ペット問題は高齢者世帯だけでなく、母子保健や精神保健の支援の中でも同様の問題があり、多頭飼育の問題も含め、世代を問わず課題となっている。

【提案】 ペットの飼育に関しては、不測の事態は飼い主にとって誰にでも起こり得る問題であることを考慮し、
飼い始める際に検討すべきことや準備すべきことを発信し、適切な飼育を促進する必要がある。情報発信のため、
動物愛護センターと協力しリーフレットの作成等を検討し、一人暮らし世帯やこれからペットの飼育を検討して
いる世帯へ働きかけられる取り組みが必要。

2 買い物難民について

【現状と課題】 大型店舗の進出により、地域密着型の店舗が減少しており、買い物に出かけることが困難になっ
ている。

- ・介護サービスでヘルパーに買い物を依頼するニーズが多い。
- ・買い物ができなくなると、食事を作る機会が減少し、ADL の低下が懸念される。
- ・通信販売を利用する方もいるが、スマートフォンの誤操作などで消費者トラブルが発生している。

【提案】 移動スーパーや AI デマンドタクシーのニーズ把握を継続し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが
継続できるように生活支援サービスの提供を充実させる必要がある。また、民間企業の活動情報を把握し、地域
住民への情報発信や活動の運営を支援するための官民連携体制の構築が必要。

3 関係者間の情報共有について

【現状と課題】 2025 年以降介護サービスを必要とする高齢者の増加が見込まれているが、少子高齢化によ
る福祉介護分野の人材の不足が課題となっている。

- ・住民の生活課題の多様化による対応の困難さから多機関でのかわりが必要なケースが多い。多くの関係機関
と密な連携が必要であり、電話・FAX・メールでの情報共有のため事務負担が増大している。
- ・行政と地域包括支援センター間の情報共有も電話やメールが主な手段となっており、事務にかかる時間が業務
の多様化により増加している。

【提案】 事務の効率化のため行政と介護事業所との情報共有ツールとして共有ストレージを活用する等 DX の
推進について協議する必要がある。まずは、市の委託事業所である地域包括支援センターと行政との情報共有ツ
ールとして共有ストレージの活用等検討できないか。共有ストレージの活用により情報共有が容易になるととも
に共同作業が可能になり事務効率化につながり、住民の相談対応や地域課題への取組が充実できる。